

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	37	—	事業名	社会福祉事務等事業(社会福祉事業)	担当部課	福祉部福祉課
------	----	---	-----	-------------------	------	--------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	6	地域で支え合う福祉の仕組みをつくる	款	3	民生費
		施策の進め方	-		項	1	社会福祉費
	まちづくり 行程表	フラッグ	F2	「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～	目	1	社会福祉総務費
		政策分類	5	障がい者でも要介護でも認知症でも大丈夫	大事業	3	社会福祉事業
	その他(関係法令、要綱等)	戦没者追悼式実施要領					
事業開始の背景、経緯等	先の大戦において惨禍された戦没者の霊に対し哀悼の誠を捧げるため、市内在住の戦没者遺族を対象に、長久手市戦没者追悼式を実施。						

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 福祉課における総務全般。また、総合福祉システムの保守・委託業務。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 福祉課における総務事務全般					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 嘱託職員等を雇用することにより、窓口業務・システム入力作業を行い、職員の事務軽減を図る。					
	事業を構成する事務事業	① 社会福祉事務事業	改善・見直し	④			
	② 戦没者追悼事業	改善・見直し	⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	事業費(A)	千円	決算	予算			13,940	12,551
決算						11,780	10,267	
人件費(B)	千円	決算			-	10,924		
総コスト(A)+(B)	千円	決算				11,780	21,191	

成果推移	成果指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	A システム委託数	件	目標	3	3	3	3	3
			実績	3	3	3	3	3
	B 遺族会員の参加率	%	目標	69.8	66.7	69.0	69.9	63.1
			実績	66.7	69.0	69.9	63.1	
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A システムの委託数で事務効率化の状況が判断できる。								
B 戦没者追悼式への遺族会員の参加率前年度実績以上(関心度が判断できる。)								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) マイナンバー制度の導入等、必要とされるシステム改修が毎年のように発生している。 戦没者追悼式を平和記念事業と一体的に実施する自治体がある(東郷町)
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 必要なシステムを導入して対応できている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 他の自治体の状況を確認する必要がある(戦没者追悼式)

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) システム導入で簡素化される業務の見直しを実施する(社会福祉事務事業) 平和祈念事業と連携した事業展開を検討する(戦没者追悼式)
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 平成30年度までに平和祈念事業と連携を図る。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		社会福祉事務等事業（社会福祉事業）										
番号	①	事務事業名	社会福祉事務事業		款	3	項	1	目	1	大	3	中	1
事務事業の期間		事務事業開始年度		—		終了（予定）年度		—						

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	障害者に対する手当や福祉サービスの提供を正確且つ円滑に推進する
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	嘱託職員を雇用し専門的に取り組む業務及び団体事務を任せ、システム導入で効率的な事務を推進する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			13,309	11,928	12,822
		決算			11,228	9,695	

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
嘱託職員雇用人数	人	目標	1	1	0	1	1
		実績	1	1	0	1	
システム委託数	件	目標	3	3	3	3	3
		実績	3	3	3	3	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

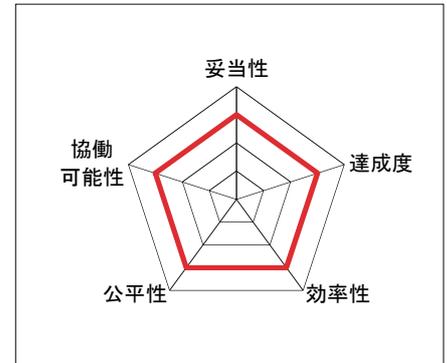
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
マイナンバー制度の導入等、必要とされるシステム改修が毎年のように発生している。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
嘱託員、臨時的任用職員の雇用やシステム導入により事務の効率化を図る。 システム導入で簡素化される業務の見直しを実施する。
(何をどのような状態に改善したのか)
システム導入で簡素化される業務はシステム導入する。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
継続的に取り組む団体事務については、基本的に異動のない嘱託職員に担当させることで安定した事務が行える。

【ウィークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
システム導入で簡素化される業務が検討されていない。

7. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
システム導入で簡素化される業務の見直しを実施する。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		社会福祉事務等事業（社会福祉事業）										
番号	②	事務事業名	戦没者追悼事業		款	3	項	1	目	1	大事業	3	中事業	3
事務事業の期間	事務事業開始年度		-		終了（予定）年度	-								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	先の大戦において犠牲となった戦没者の霊に対し哀悼の誠を捧げるため、市内在住の戦没者遺族を対象に年に1回長久手市戦没者追悼式を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	戦没者の霊を追悼し、戦争の悲惨さ平和の尊さを後世に伝えていく。

2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			631	623	623
		決算			552	572	

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
遺族会員の参加率	%	目標	69.8	66.7	69.0	69.9	63.1
		実績	66.7	69.0	69.9	63.1	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

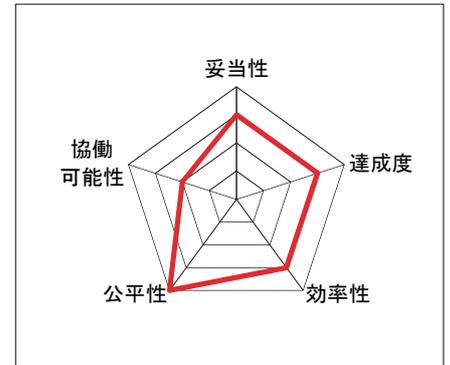
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
戦後70年以上経過し、戦没者遺族の高齢化が進んでいる。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
長久手市平和事業推進委員会との連携を図ること。
(何をどのような状態に改善したのか)
平和事業推進事業に戦没者追悼式を含め実施する。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	4
協働可能性	2



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
遺族会と連携して式を開催し、戦争の悲惨さ平和の尊さを認識している。

【ウィークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
長久手市平和事業推進委員会との連携が十分図られていない。

7. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
長久手市平和事業推進委員会と連携をして実施することが必要。